

平成十八年十月六日受領  
答 弁 第 七 号

内閣衆質一六五第七号

平成十八年十月六日

内閣総理大臣 安倍 晋 三

衆議院議長 河 野 洋 平 殿

衆議院議員近藤昭一君提出村山談話についての安倍内閣の認識に関する質問に対し、別紙答弁書を送付する。

衆議院議員近藤昭一君提出村山談話についての安倍内閣の認識に関する質問に対する答弁書

一、三及び四について

政府としての認識については、平成七年八月十五日及び平成十七年八月十五日の内閣総理大臣談話等において示されてきているとおりである。

二について

お尋ねの「先の大戦」及び「あの戦争」については、その時期等をめぐり様々な議論があるところ、政府として、具体的に断定することは適当でないと考える。

五について

政府としては、御指摘の「調査」を実施することは考えていない。いずれにせよ、政府としては、今後、悲惨な戦争の教訓を風化させず、二度と戦火を交えることなく世界の平和と繁栄に貢献していく決意であることに変わりはなく、また、我が国の戦後の歴史は、こうした戦争への反省を行動で示してきていると考える。